



●城一夫名誉会員を偲んでー 2

城一夫著「西洋装飾文様事典 新装版」

朝倉書店発行、19,000円

2008年10月10日 新装版第1刷

模様（装飾文様）に関連する言葉を解説した事典。見出し語は、テキスタイルデザインの模様を中心に、陶磁器、建築、文字、装身具など多岐にわたる。また、掲載されている貴重な図版の数々が、白黒で印刷されており、カラーで見ると模様の形状が見やすく伝わりやすい。ページを開くと、どの見出し語にも、広い視野で捉えた興味深い内容が紹介されている。例えば、「線」について、「線は模様を形成する3要素—すなわち点・線・面—の一つとして重要な役割をもっている。

自然科学の定義としては、「面の境界として（中略）現実の視覚的世界には存在しない」という説明からはじまり、線の役割や種類の紹介が続く。

その後、ラスコーやアルタミラの線描きの動物、モヘンジョダロやスーサの彩色土器の模様の出現について触れ、ロココ、アール・デコなどの模様の様式を生むに至ったことが解説されている。ストーリーと共に語られる「線」という言葉の意味が、深く、また新鮮に感じられる。
(塚本由紀江)

●WEB ミーティング参加者募集

環境色彩研究会主催の、WEB ミーティングが、2回開催されます。日本色彩学会員は誰でも参加できます。参加費無料です。

■第1回：3月30日（木）20時～22時
話題提供者：藤川伸央氏

(DIC グラフィックス株式会社)

話題：「DIC デジタルカラーガイドアプリの環境色彩研究への応用可能性について」

第1回目のミーティングでは環境色彩研究に「DIC デジタルカラーガイド」アプリがどのように活用できるのか、アプリ機能と応用可能性について紹介されるとともに、このテーマでの懇談が行われます。

◆第1回申込みフォーム

<https://forms.gle/Pk7ooAJPYKAa7yCL9>

■第2回：5月18日（木）20時～22時
話題提供者：藤川伸央氏

話題：「DIC デジタルカラーガイドアプリの環境色彩研究への活用事例」

「DIC デジタルカラーガイド」アプリを実際に皆様にご利用頂くミーティングです。

◆第2回申込みフォーム

<https://forms.gle/Zx9g3phiMxx2Wyeb6>

多くの方のご参加をお待ちします。

(学会メールニュース No.400 から引用・永田泰弘)

●大辞泉ひろいよみ 10ーい

色揚げ：色のあせた布や衣服などを、染め直して美しくすること。染め物や入れ墨の色の仕上げ。

色褪せる：色がさめる。色がうすくなる。美しさやみずみずしさなどがなくなる。新鮮味がなくなる。衰える。

色合わせ：見本と色とを照らし合わせること。また、同じ色になるように色を調整すること。

色板：木版の色刷りに用いる版木。さまざまな形の板に、色をつけたもの。子供の遊び道具。

色糸：種々な色に染めた糸。三味線の糸。また、三味線。

色々：異なる事物や状態が数多いこと。また、そのさま。さまざま。種々。襲の色目の名。さまざまの色。襲の色目の名。薄色・萌黄・紅梅・蘇芳などさまざまな色を重ねること。

色色威：鎧の威の一。いく色もの糸や革でおとしたもので、普段は段によって色を変えた。

色色し：華やかなさま。色好みであるさま。

色ふ・彩ふ・艶ふ：(いろう) 美しいいろどりをしている。映える。色が美しく交じる。金や宝石などをちりばめて飾る。文章などを飾る。潤色する。

*大辞泉：小学館発行国語辞典

(永田泰弘)